

Introduction

みなさん、こんにちは、ハピです。みなさんの資産形成を考える上で必要となる金融・経済用語を基礎からご紹介します。妹のハナと一緒にゆっくり勉強していきましょう！



ハピ

世界初の犬のファンド・マネジャー、「ワンド・マネジャー」として働く金融のエキスパート。すべてのお客様にハッピーをお届けするため、世界中を駆け回ります！



ハナ

お金や経済のことはサッパリわからないけど、兄のハピにはめっぽう強気。つみたてNISAが始まったことを知って、「自分もチャレンジしたい」とやる気MAXです！



ETF Part3



でも、ETFの市場って小さいんじゃないの？ついこの間までETFなんて聞いたことなかったし。少し不安～。



目のつけどころが鋭くなってきたね！ETFの歴史は株式や債券に比べれば確かに短いけれど、市場規模は大きくなっているんだよ。

私の金融知識みたいに急成長しているのね！親近感がわいてきたわ！



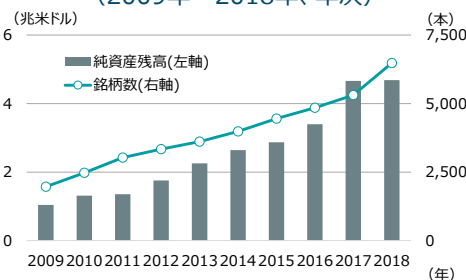
詳しく解説するワン！

世界のETF市場

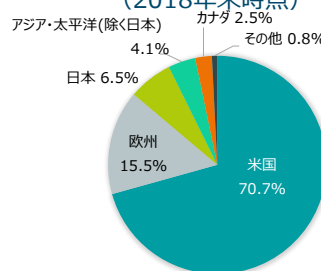
拡大を続けるETF市場

- 1990年にカナダの証券取引所に上場したETFが世界初だと言われているよ。
- 世界中で約6,500本ものETFが上場していて、市場規模（純資産残高）は約4.7兆米ドル（約516兆円）にもものぼるよ。世界の株式時価総額が約74.7兆米ドル（約8,216兆円）だから、ETF市場の存在感が増していることがわかるね。（2018年末時点）
- 中でも米国市場が一番大きく、2018年末時点で全体の約7割を占めているよ。
- 日本のETF市場も急拡大していて、2009年から2018年の間に12倍以上にも成長したんだ。2018年末時点で日本の市場は約34兆円あり世界の約6.5%を占めているよ。

世界のETFの純資産残高および銘柄数推移
(2009年～2018年、年次)



ETF市場の地域別構成比率
(2018年末時点)



日本銀行は、市場に出回るお金を増やして日本の景気を刺激しようとしているよ。その手段の一つとしてETFを購入しているワン！

出所：ETFGI、World Federation of Exchange、Bloomberg、各種資料の情報を基にドイチェ・アセット・マネジメント(株)作成
※換算レート：1米ドル＝110.04円／兆円未満四捨五入。
※端数処理の関係で合計が100%にならない場合があります。



ご留意事項

●投資信託に係るリスクについて

投資信託は、主に国内外の株式や公社債等の値動きのある証券を投資対象とし投資元本が保証されていないため、当該資産の市場における取引価格の変動や為替の変動等により投資一単位当たりの価値が変動します。したがってお客様のご投資された金額を下回ることもあります。

また、投資信託は、個別の投資信託毎に投資対象資産の種類や投資制限、取引市場、投資対象国等が異なることから、リスクの内容や性質が異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

●投資信託に係る費用について

【お申込みいただくお客様には以下の費用をご負担いただきます。】

- 購入時に直接ご負担いただく費用・・・購入時手数料 上限3.78%（税抜3.50%）
- 換金時に直接ご負担いただく費用・・・信託財産留保額 上限0.5%
- 投資信託の保有期間中に間接的にご負担いただく費用・・・運用管理費用（信託報酬） 上限2.0304%（税抜1.88%）
- その他費用・・・上記以外に保有期間等に応じてご負担いただく費用があります。
投資信託説明書（交付目論見書）、契約締結前交付書面等でご確認下さい。

《ご注意》

上記に記載しているリスクや費用項目につきましては、一般的な投資信託を想定しております。費用の料率につきましては、ドイツ・アセット・マネジメント株式会社が運用するすべての投資信託のうち、徴収するそれぞれの費用における最高の料率を記載しております。投資信託の運用による損益は、すべて受益者に帰属します。投資信託は、金融機関の預貯金と異なり、元本及び利息の保証はありません。投資信託は、預金または保険契約ではないため、預金保険及び保険契約者保護機構の保護の対象にはなりません。登録金融機関を通じてご購入いただいた投資信託は、投資者保護基金の対象とはなりません。投資信託に係るリスクや費用は、それぞれの投資信託により異なりますので、ご購入に際しては、事前に最新の投資信託説明書（交付目論見書）や契約締結前交付書面の内容をご確認の上、ご自身で判断して下さい。

なお、当社では投資信託の直接の販売は行っておりませんので、実際のお申込みにあたっては、各投資信託取扱いの販売会社にお問合せ下さい。

ドイツ・アセット・マネジメント株式会社

金融商品取引業者 関東財務局長（金商）第359号

加入協会：日本証券業協会、一般社団法人投資信託協会、

一般社団法人日本投資顧問業協会、

一般社団法人第二種金融商品取引業協会